

2014-01-17 奈良県五條小学校で防災意識の啓発講習会を開催しました

イベントレポート 関西支部

タイトル：「災害メカニズムの講習会『なぜ 山が崩れるの?』」

主催：公益社団法人土木学会関西支部

後援：奈良県、五條市、五條市教育委員会

日時：平成 26 年 1 月 17 日（金）

午後 1 時 55 分～2 時 40 分：小学 5 年生対象の講習

午後 3 時 00 分～4 時 00 分：教職員、土木関係者が見学した小学 5 年生対象の講習内容を今後活用するための説明及び質疑応答

参加者：児童：39 名、教育委員会、教職員、県及び市議員・職員：35 名

講師：藤井 俊逸（株式会社 藤井基礎設計事務所 技術部）

北田奈緒子（財団法人 地域地盤環境研究所 地球科学部門地形地質グループ）

内容：映像と模型実験で視覚的に学ぶ

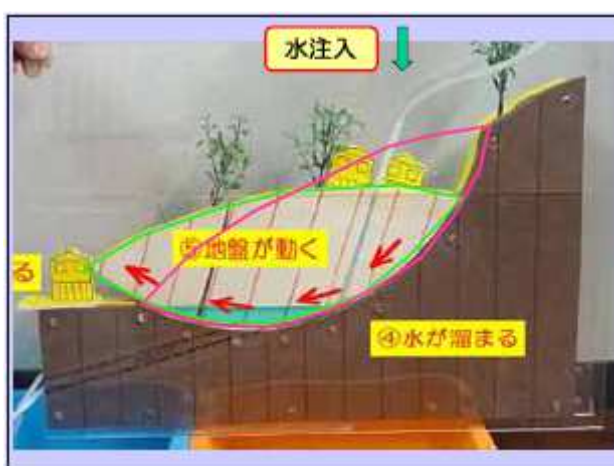
1. 五條市周辺の地層のでき方を調べよう
2. 山が崩れやすい条件について
 - 1) 地層の中にすべりやすい面があると崩れやすくなります。
五條市の災害箇所を例に写真で説明！
 - 2) 川が地盤を削ったりすると崩れやすくなります。
被災箇所の地図や断面図で説明！
 - 3) 地震の揺れで崩れやすくなります。
 - 4) 雨が降ると崩れやすくなります。



3. 実験コーナー

なぜ雨が降ると山が崩れるの？
どんな対策をしているの？

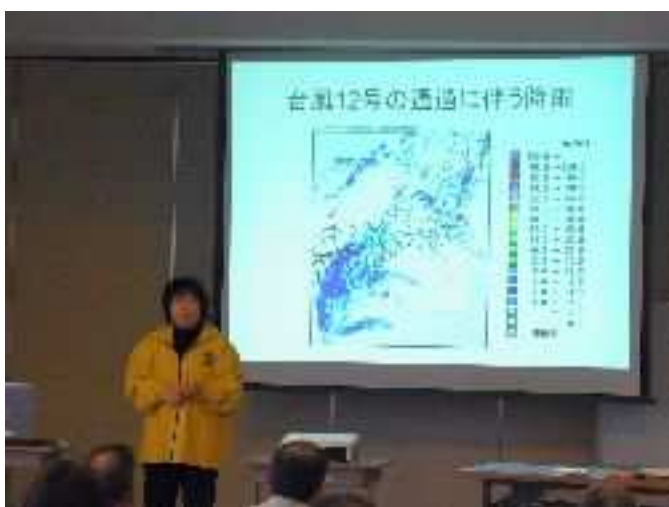
【模型実験装置】





4. おわりに

- 1) 山が崩れるのには理由があります。
自分たちの住んでいるところはどんな地盤ですか？
地盤とすべりに関わりがあることが理解できたでしょうか？
どんなときに危険になるか理解できたでしょうか？
今日のお話を参考に、さらにお勉強して欲しいです。
- 2) それを知った上で、安全に逃げる方法を
家族や地域の人と普段から考えておくことが大事です。



奈良テレビ放送 1月17日のWEBニュース から抜粋
http://www.naratv.co.jp/news/news_r.php?newsymd=20140117

小学生が学ぶ なぜ山が崩れるの？ (19時58分)

平成23年9月の大水害について学んでいる五條市の小学生が、専門家から山崩れのメカニズムを教えてもらいました。

五條小学校の5年生は、総合学習の時間に防災について勉強しています。

きょうは、土木学会関西支部に講習会を開いてもらい、災害が起きるメカニズムを学ぶことになりました。

専門家は、五條市周辺の地層がもともと地すべりしやすいことを指摘したうえで、模型を使う実験で雨がもたらす土砂崩れの仕組みを説明します。

雨が地下を流れて地盤が緩み、耐えられなくなるプロセスを見た子どもたちは、驚きながらも納得した様子でした。

そして地すべり対策が実際にどう行われているのかも紹介され、危険な状態になったとき、安全に逃げる方法をふだんから考えておくことの必要性を学びました。

学校や市役所では、勉強の内容を今後活用していくことにしています。